

## IPCC シンポジウム『IPCC 第 7 次評価報告書へ向けて ～未来のために今私たちが行動しよう～』の開催について

気象庁は、環境省、文部科学省、農林水産省、林野庁、経済産業省及び国土交通省と共催で IPCC シンポジウム『IPCC 第 7 次評価報告書へ向けて～未来のために今私たちが行動しよう～』を令和 5 年 10 月 23 日に開催します。

### 1. 概要

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は、2023 年 3 月に第 6 次評価報告書サイクル（AR6）の統合報告書を公表し、AR6 が終了しました。同年 7 月には第 7 次評価報告書サイクル（AR7）を率いる議長団選挙が行われ、AR7 が開始されました。

本シンポジウムでは、AR7 の副議長、インベントリータスクフォース（TFI）共同議長、第 2 作業部会（WG2）共同議長を招き、IPCC AR6 報告書の知見を紹介いただくとともに、報告書の国内執筆者を交えて、AR6 の振り返りと AR7 に向けた取り組みや展望について議論いただきます。

- ◆ 日 時 令和 5 年 10 月 23 日（月）14 時 00 分～16 時 45 分
- ◆ 開催方式 対面方式及びオンライン方式の併用（いずれも参加費無料）
- ◆ 会 場 東京国際フォーラム（東京都千代田区丸の内 3-5-1）B7 ホール
- ◆ 主 催 環境省
- ◆ 共 催 文部科学省、農林水産省、林野庁、経済産業省、国土交通省、  
気象庁
- ◆ 後 援 地球ウォッチャーズー気象友の会ー
- ◆ 言 語 日本語、英語（日英同時通訳あり）
- ◆ 参加方法 対面参加、オンライン参加どちらの場合も事前申込が必要です。  
対面参加の申込みは、先着 400 名にて締切とさせていただきます。  
オンライン参加（人数制限無し）の申込みは、シンポジウム終了時刻  
まで可能です。申込方法及びその他詳細な情報については下記ウ  
ェブサイトを参照ください。

<https://www.gef.or.jp/news/event/231023ipccsympo/>

## 2. プログラム（日英同時通訳あり）

### ◆ ビデオメッセージ（約 10 分）

- ・ Jim Skea（IPCC AR7 議長/元 AR6 WG3 共同議長/  
インペリアル カレッジ ロンドン 持続可能エネルギー科教授）

### ◆ 基調講演 1 【需要側の機会を通じた気候変動の緩和：AR6 の新規性】（約 15 分）

- ・ Diana Ürge-Vorsatz（IPCC AR7 副議長/元 AR6 WG3 副議長/  
中央ヨーロッパ大学環境科学・政策学部教授）

### ◆ 基調講演 2 【都市と気候変動：AR6 から AR7 へ】（約 15 分）

- ・ Winston Chow（IPCC AR7 WG2 共同議長/元 AR6 WG2 主執筆者(LA)/  
シンガポールマネジメント大学都市気候学准教授）

### ◆ 基調講演 3 【TFI の概要と活動内容】（約 15 分）

- ・ 榎 剛史（IPCC AR7 TFI 共同議長/  
公益財団法人 地球環境戦略研究機関フェロー）

### ◆ パネルディスカッション（約 80 分）

「これまでの IPCC 評価報告書の成果と今後の課題をふまえた第 7 次評価サイクルへの期待」

#### ▽モデレーター

- ・ 沖 大幹（IPCC AR6 WG2 第 8 章査読編集者(RE) /東京大学大学院工学系研究科教授）

#### ▽パネリスト

- ・ Diana Ürge-Vorsatz（IPCC AR7 副議長）
- ・ Winston Chow（IPCC AR7 WG2 共同議長）
- ・ 榎 剛史（IPCC AR7 TFI 共同議長）
- ・ 江守 正多（IPCC AR6 WG1 第 1 章 LA/東京大学未来ビジョン研究センター教授/国立環境研究所地球システム領域上級主席研究員）
- ・ 平林 由希子（IPCC AR6 WG2 第 4 章 LA/芝浦工業大学工学部土木工学科教授）
- ・ 秋元 圭吾（IPCC AR6 WG3 第 17 章 LA /公益財団法人 地球環境産業技術研究機構システム研究グループリーダー・主席研究員）
- ・ 山形 与志樹（IPCC AR6 WG3 第 8 章 LA/AR6 土地関係特別報告書 第 6 章 RE/慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授）

なお、プログラムには多少の変更の可能性がります。

問合せ先 大気海洋部 気象リスク対策課 気候変動対策推進室 松田、町田  
電話 03-6758-3900（4109、4113）